

笑顔があふれ、生徒一人ひとりが輝く新宮中学校！

今春の学校分離によって生徒数は減少しましたが、新宮中学校はますます輝いています。生徒たちは生徒会スローガン「共創(きょうそう)」を掲げ、新宮東中と切磋琢磨しながら、学校文化を継承・進化させていっています。

日々の授業や学校行事に取り組みながら、生徒たちの笑顔があふれる学校づくりを推進します。その土台となるのが、コミュニティ・スクール(CS)の推進です。新宮中は、地域とともにある学校をめざします。

「笑顔が輝いた体育会」〈異学年ブロック活動で生徒が輝く学校〉

5月19日に開催した体育会は、まさに「笑顔が輝く」新宮中を表すものとなりました。新種目の「新宮アドベンチャー」では、ペアになった選手が満面の笑顔でゴールをめざす姿がありました。その他の走種目、ブロック種目でも真剣な眼差しで取り組む姿が見られました。



▲笑顔が輝く体育会

また、CS種目「新宮音頭」では、創作ダンスに挑戦。新宮音頭をブロックごとにアレンジして披露しました。新宮東中学校の生徒も応援に駆けつけ、卒業生、地域や来賓のみなさんに参加いただき、グラウンドに大きな笑顔の輪を作りました。この素晴らしい経験こそ、ブロックリーダーや生徒会役員、そして全生徒の成長につながると思います。

今後の行事(砂の芸術、合唱コンクール)もブロック活動です。先輩が後輩にしっかりと思いを伝え、後輩は先輩の思いや願いを聴き、動きを手本として活動します。「相手のことを思い、相手のことを大事にする」という人権感覚を発揮していきます。これからも、生徒がお互いを大事にする学校、笑顔が輝く学校をめざします。

「学びが輝く」〈学びの共同活動で「わかった！」が増える授業〉

すべての教科の授業で「学びの共同活動」を行います。ペア、小集団、学級全体の交流活動を授業のなかで意図的、計画的に行い、自分の考えを友達とともに作りあげていきます。

「ねえ、ここどうするの?」と隣の生徒に尋ねることを大事にします。そして「あ、わかった!できた!」という声が出る活動を大事にします。尋ねた生徒も考えを伝えた生徒も、自信を持つことができます。内容がわかる・できる、自分の考えをつくる、そして、クラスの仲間への疑問や考えを大事にする力がつき、生徒の学びが輝きます。



▲お互いの考えを聞きあう授業